



校友会会報誌「ALL YNU」第9号

横浜で学び、
横浜から飛び立つ



大学のビジョン実現に向け、学生の皆さんの活動を継続して応援していきます!!

■ 宮田 芳文 横浜国立大学校友会 会長

コロナ感染が次第に収束してきたことで、正常な生活・活動が出来るようになってきましたね。これからは、本当にやりたいことにチャレンジして欲しいですね。校友会も今まで休止していた活動を徐々に復活して学生の皆さんの応援をしていきます。

大学は、「知の総合型大学として世界水準の研究大学の実現」に向

けた発展への起点として「創基150周年・開学75周年記念募金事業」に今年度から取り組んでいきます。目指すビジョンを大学と共有して、校友会のみならず、全学部と同窓会と一致団結して、大学のビジョンの実現に向け皆さん一人一人と一緒に継続して取り組んでまいります。



MIYATA Yoshifumi

福岡県出身、1978年横浜国立大学経済学部卒業、2009年第一生命保険株式会社常務執行役員、2012年資産管理サービス信託銀行代表取締役副社長就任、2018年退任、2018年ウェルネストコミュニケーションズ社外取締役、2021年持田製薬社外監査役



UMEHARA Izuru

1962年生まれ。1987年富山大学理学部卒業、1989年富山大学大学院理学研究科修士課程修了、1992年筑波大学大学院工学研究科博士課程修了。2000年横浜国立大学工学部助教授、2009年横浜国立大学大学院工学研究院教授、2019年横浜国立大学理事・副学長、2021年横浜国立大学長

世界へ そして多様な大学へ

■ 梅原 出 横浜国立大学 学長

校友会におかれましては、様々な活動を通して学生への支援を賜り感謝申し上げます。さて、2022年から本学はMan and Biosphereを实践する大学としてユネスコチェアに採択され、また、インドーオーストラリアの大学との連携で「大学の世界展開力」事業にも採択されています。どちらの取り組みも世界水準であることを標榜する本学の取り組みとして進展を期待して

います。

本学は、「実践性」「先進性」「開放性」「国際性」の4つの理念に加え「多様性」を5つ目の理念としました。本年度4月からは、ダイバーシティ戦略推進本部にD&I教育研究実践センターを設置し「多様性」の醸成を進めてまいります。今後も本学は特徴ある取り組みを展開してまいりますのでご支援賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

「学びたい」「挑戦したい」を応援する

横浜国立大学は2024年、
創基150周年・開学75周年を迎えます
横浜国立大学基金
YOKOHAMA National University Fund

修学支援

研究支援

国際交流
の促進

共生社会
の実現

横浜国立大学基金では、意欲ある学生や若手研究者の教育・研究支援を行っています。
皆様からのご寄附、ご支援をお願いします。

お問い合わせ先

横浜国立大学
卒業生・基金担当

TEL : 045-339-4443

FAX : 045-339-3034

E-mail : ynu.kikin@ynu.ac.jp



Contents

2 校友会会長・学長 メッセージ

4 校友会活動のご紹介

【学生支援】

新入生歓迎会



キャリア教育

学部講演会

【学生支援】

若手OB・OGと
現役学生との交流会
ーヨココク・ツナガル

「横浜経営者の会による
模擬面接会」



キャリア・
アドバイザーの派遣

8 YNU卒業生からのメッセージ ～大学時代の思い出と後輩へのメッセージ～

安齋 裕己さん (神奈川県横浜市内小学校)
寺田 学さん (住友生命保険相互会社)
新井 尚志さん (株式会社丹青社)
松田 涼佑さん (横浜国立大学工学研究院)
竹花 章仁さん (三菱UFJ信託銀行株式会社)



10 部活動・サークル等紹介 ・準硬式野球部 ・ヨット部

11 校友会からのご報告 令和4年度活動・決算報告／校友会総会のお知らせ

12 WEB会員登録／ホームページのお知らせ

校友会学生幹事会Seagullsの活動

学生の、学生による、学生のための組織

学生の多くは学部やサークルの中では色々な人と関わっていると思います。しかし学生や大学がさらに成長していくためには、そうした壁を越え、学生が主となって社会人とも積極的に交流をしていく必要もあります。そこで「学生の、学生による、学生のための組織」として学生幹事会Seagullsが2016年3月に立ち上がりました。Seagullsでは、「新入生歓迎会」

「OB・OGとの交流会」の企画・運営を学生主体で行っており、学部を超えた交流とYNUのブランドアップを目指し活動しております。既存企画の改善や新規企画の発案など、YNUをよりよくしたいと熱い思いを持った学生たちがアウトプットできる場所がSeagullsにあります。これを読んだあなたも我々と一緒にYNUを改革しませんか？

幹事募集中!!



Seagullsでは校友会の活動と一緒にサポートする学生幹事を募集しています。幹事一同大歓迎ですので、ご連絡お待ちしております。

連絡先 MAIL : koyukai@ynu.ac.jp

学生支援

新入生歓迎会

令和5年6月15日(木)、第一食堂にて立食パーティー方式による新入生歓迎会を4年ぶりに開催しました。

この新入生歓迎会は、学生幹事会が中心となって企画・運営しました。当日は、100名を超える新入生の参加と大学関係者及び同窓会からも多数の参加があり、過去最高の参加者数となりました。

また、美味しい料理とビンゴゲームなどで大いに盛り上がり、学部を越えた仲間との会話が弾んでいました。



地域連携シンポジウム

ー地域実践アワード・次世代の
横浜・神奈川地域像を素描するvol.2ー



2022年度の地域連携シンポジウムは、2023年2月17日(金)にYouTube ライブを通じて開催しました。第1部の地域実践アワードでは地域課題実習の活動発表を行い、投票の結果「アグリッジプロジェクト」がMVP 賞に選ばれました。第2部では「次世代の横浜・神奈川地域像を素描する vol.2」と題して、大学院副専攻プログラム「地域創造論」のグループワークを踏まえて、パネルディスカッションが展開されました。

部活動団体表彰

令和5年5月10日(水)、令和4年度に顕著な成績を収めた部活動団体に活動奨励賞を贈呈しました。

校友会では、部活動団体表彰を行い、部活動の支援と大学のブランドアップを目指します。

受賞団体は、次のとおり。

陸上競技部、スポーツチャンバラ翔剣会、準硬式野球部



キャリア教育

(横浜経営者の会、同窓会が協力)

キャリア教育、グローバル人材育成、学部横断的講演会を通じて、ALL YNUの力で学生を社会へ、世界へ。

1年次	ビジネスの基本を体感する	まなび座	自分たちで問題を見つけ、チームで解決策を見出し、発表というプロセスを通じて課題解決力を鍛えます	
全学年	貴重な体験談等からグローバル世界への対応の基礎を学ぶ	グローバル化と日本人	海外勤務経験者もゲスト講師に、異文化理解とコミュニケーションを学ぶ	
2年次以上	トップ経営者による講義	グローバルビジネス実践論	主要業界のグローバルビジネスで活躍したビジネスマンによる実践講義	
全学年	早くから広く社会を知る	経営者が語る これからの企業戦略・イノベーションと若者へのメッセージ	トップ経営者が学生に直接、企業経営について語る貴重な機会	
全学年		5学部と校友会共催の講演会	視野を上げ世界を鳥瞰し、将来の進路や人生を考える参考に	

経営者が語る これからの企業戦略・ イノベーションと 若者へのメッセージ

企業経営者から会社概要、企業内容のPRと合わせ、やりがいを持って生き活きと働いている社員の紹介を行います。

学生が各企業の実態を知る良い機会となり、就職先の一つの選択肢としてとらえ、就職機会の拡大につながることを目的としています。

1	横浜国立大学、富丘会	経営学部教授、富丘会事務局長
2	(株)アイネット	取締役相談役
3	元内閣府	元大臣官房審議官(科学技術政策担当)
4	日揮ホールディングス(株)	専務執行役員 CHRO
5	コーン・フェリー・ジャパン(株)	特別顧問
6	日本発条(株)	専務執行役員 DDS生産本部長
7	(株)荏原製作所	取締役 代表執行役社長 兼 CEO 兼 COO
8	(株)オカムラ	オフィス環境事業本部マーケティング本部長
9	京浜急行電鉄(株)	新しい価値共創室部長
10	(株)有隣堂	代表取締役社長
11	コマツ	取締役会長
12	(株)サカタのタネ	取締役 常務執行役員
13	(株)高島屋横浜店	執行役員店長
14	相鉄ホールディングス(株)	経営戦略室 第一統括担当 課長
15	横浜国立大学、富丘会	経営学部教授、富丘会事務局長

5学部と校友会共催の講演会

教育学部、経済学部、経営学部、理工学部、都市科学部の各学部と共催で合計5回開催。

視野を上げ世界を鳥瞰し将来の進路や人生を考える参考に、社会で活躍する方々を講師でお呼びしています。学生は、どの講演会にも原則参加ができます。

令和4年度は、下記のとおり開催しました。

教育学部	講 師：工藤 勇一氏(横浜創英中学・高等学校校長) テーマ：社会の変化とこれからの学校教育～自律と対話～
経済学部	講 師：小野塚 知二氏(東京大学名誉教授、東京大学特命教授) テーマ：世界の持続可能人口は現在の四分の一？-長い人口減少過程が満たすべき条件-
経営学部	講 師：赤本 正憲氏(三菱電機株式会社国際本部地域統括部兼地域戦略部担当部長) テーマ：グローバル時代の働き方
理工学部	講 師：渡邊 正義氏(紫綬褒章受章(2022年)、横浜国立大学名誉教授) テーマ：ゼロエミッション社会を実現する材料イノベーションの創出
都市科学部	講 師：佐々木 睦朗氏(法政大学名誉教授、構造家) テーマ：建築と構造のコラボレーション



工藤 勇一氏



小野塚 知二氏



赤本 正憲氏



渡邊 正義氏



佐々木 睦朗氏

学生支援

■ 若手社会人と現役学生との交流会

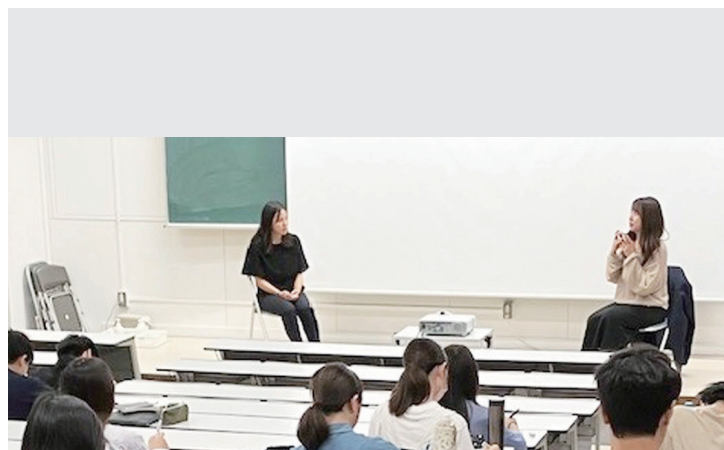
■ ヨココク・ツナガル

2022年11月25日(金)、第7回若手社会人と現役学生との交流会「ヨココク・ツナガル」を3年ぶりに対面にて開催いたしました。現在社会の最前線で活躍されている若手OB・OG 5名をお迎えして将来のビジョンや今のうちに何をしておくべきか等熱いメッセージをいただきました。また参加した学生14名から就活など様々な質問にも丁寧にお答えいただきました。



■ OB・OGによる

■ マスコミ就活応援セミナー



2023年6月23日(金)に3年ぶりに対面形式によるマスコミ就活応援セミナーが開催されました。学生の参加は約31名。卒業生のNHK記者と朝日新聞記者をお迎えし、マスコミ業界最前線の体験談や自らの就活体験などを踏まえた、後輩向けの丁寧なアドバイスをいただきました。



左:朝日新聞記者
寺島 笑花 氏

右:NHK記者
山内 彩愛 氏

■ 横浜経営者の会による模擬面接会

2022年12月16日(金)に「YNU 横浜経営者の会」と横浜国立大学及び校友会の共催で対面での模擬面接会を実施しました。

午前の部・午後の部の2回開催され、「YNU 横浜経営者の会」からは12社が参加し、学生の参加は19名ありました。終了後の学生アンケートでは、「満足」との評価が多くありました。





OB・OGによる模擬面接会 (校友会・同窓会・大学オンライン共催)

本年も就活支援の為に模擬面接会(8回目)を2023年1月21日(土)に開催しました。学生21名・面接官17名が参加し6個のブレイクアウトルームに分かれ、面接官3名と学生3、4名で集団面接を行いました。コロナ禍以降オンライン面接が普及しており、本番さながらの雰囲気の中で学生達は緊張した面持ちで質問に答えていました。フィードバックでは面接官に対し積極的な質問があり、真剣に望む姿が伝わりました。座談会では気軽な雰囲気の中で、学生と面接官がフリートークを行い、有意義な交流を過ごしていました。

スケジュール	
第一部：模擬面接会	
14:00 - 14:10	オープニング
14:15 - 14:40	模擬面接会①
14:40 - 15:00	フィードバック①
15:05 - 15:30	模擬面接会②
15:30 - 15:50	フィードバック②
15:50 - 15:55	クロージング



キャリア・アドバイザーの派遣

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
現在WEBと対面の両方にて実施

同窓会は、就活支援のために各業種で採用・営業・企画など経験豊富なOB・OGをキャリア・アドバイザーとして大学に派遣しています。

個別就職相談は、1回45分、1対1で学生の相談のり、年間を通して様々なアドバイスや面接指導、エントリーシートの添削を行っています。

昨今の就職活動における面接は1次オンライン、最終対面など両方を行うことが主流となっていることから、WEBと対面の両方のハイブリッド方式にて相談を行っています。



キャリア・サポートルームの紹介

きめ細やかなキャリア・就職支援

キャリア・サポートルームでは、会社案内、求人票、会社四季報など就職に関する刊行物、日本経済新聞、ビジネス誌などを取りそろえています。また、インターンシップ情報、OB・OG名簿の閲覧、公務員関係資料なども収集できます。さらに、キャリア・アドバイザーによる就職相談(予約制)も行っていますので、就職活動で悩んでいることがあったら、気軽にお立ち寄りください。

まずは
キャリア・サポート
ルームへ
お越しください!



学生センター3階(キャンパス内中央に位置)

就職サポート内容 (上記の他に)

- 就職支援行事の開催
- 先輩方の進路状況の閲覧
- 学外就職イベント情報の入手
- アプリ、Twitterでの情報発信



就活アプリ
iPhoneの方



就活アプリ
Androidの方



Twitter

～大学時代の思い出と後輩へのメッセージ～

各界で活躍する卒業生のみなさんから、
大学時代の思い出や後輩へのアドバイスなどを寄せてもらいました。

つながり

学

生時代、新型コロナウイルスによって多くのつながりが制限されました。それでも、4年間で多くの友人と楽しく遊び、愉しく学べたと胸を張って言いたいです。特に、教育学部体育科の人たちとは、共にzoomで授業を受けたり飲み会を開いたり…。喜ばしい日々が思い起こされます。

やがて、制限が緩和され、皆が将来を真剣に見据える状況となりました。体育科の同期とのつながりは、より強固なものになりました。ずっと共にいることが当たり前。気づけば、「一

緒にいと楽しい同期」が「かけがえない同期」へ。体育科の同期なくして、私の学生生活は考えられませんでした。

現在は…という、何ヶ月に一回ぐらいのペースでしか会えていません。それでもやはり、横浜国立大学での素敵な出会い・つながりに感謝しています。同じ空の下、日々壁を乗り越えようとする同期の姿を心に映して、私も踏ん張れています。

大学で同期と深い関係性を紡いでいくこと。行く先、なかなか会えない状況でも心のつながりを感じ取って自分の活力とすること。拙いですが、

これが私が今後輩たちに伝えられるメッセージです!!



神奈川県横浜市内小学校 教諭

安齋裕己さん

ANZAI Yuki

教育学部2023年卒、現在横浜市内の小学校で4年生の担任をしています。

積極的なコミュニケーションでコロナで失われた時間を取り戻そう!

私

が在学していた頃はパソコンも一般的ではなく、もちろん携帯電話も無い時代です。なので対人対応はアナログ。LINE等便利なツールも無く、待ち合わせも大変だったことを思い出します。そのぶん人とよくコミュニケーションも取ったと思います。ゼミのメンバーともよく一緒に過ごしました。思い出すのは、ほぼ勉強以外のことであることはご愛敬です。そのおかげで、40年近くたった今でも皆と仲良くしており、当時の馬鹿話をしながらお酒を飲んだりしています。

コロナでリモートの会議が増えました。リモート会議は便利ですが、

モニターを通してだと自分の思いが伝わりづらいと感じることがよくあります。目は口ほどのものを言うと言いますが、やはり直接会って面前で話すことは大事なのだなと改めて思います。学生の皆さんもコロナで十分にコミュニケーションが取れずにフラストレーションがたまることも多かったと聞いています。これからコロナで失った時間を取り戻したいですね。一生付き合える友人とめぐり逢うことは幸せなことですが、まさに大学時代はそんな友人ができる貴重な瞬間だと思います。皆さんが充実した学生生活を送られることをお祈りしています。



住友生命保険相互会社

寺田 学さん

TERADA Manabu

経済学部1988年卒、同会社公法人部次長。今年から本社が東京駅八重洲口の目の前のビルに移転しました。

誰かを頼ってみる勇気を大切に

大

学時代の思い出で皆さんに誇れることは、交換留学生としてフィンランドの大学に派遣してもらえたことと、卒業論文で経営学会優秀賞を受賞できたことだと思います。

言語や外見、生きてきた環境が自分と異なる人々に囲まれ、日本とは異なる風土のなかで生活する。そんな留学生生活を通して、異文化の魅力に触れると同時に、私が生まれ育った日本がどういう国なのかを強く認識できたことは印象的でした。卒業論文では、担当教授の熱心なご指導のもと、多様な情報を客観的な立場で比較検討し自分な

りの考えを述べる、という学問的な態度を学ばせていただきました。その結果として優秀賞という評価をいただけたことは大変うれしく今の私の自信にもなっています。

私が皆さんに伝えたいことは「誰かを頼ってみる勇気をもつ」ということです。留学経験のある先輩方や学務の方々のサポートのおかげで留学を経験できましたし、卒業論文も担当教授をはじめゼミの同期のアドバイスののおかげで優秀賞をいただけたと感じています。「求めよさらば与えられん」という言葉がありますが、少なくともこの大学には与えてくれる環

境があると思います。迷惑かなと考えてしまうかもしれませんが、ぜひ色々な人を頼ってみてください。



株式会社丹青社

新井 尚志さん ARAI Hisashi

経営学部2021年卒、文化空間事業部の営業職として国や地方自治体の博物館整備事業に関わっています。

なんでもできる。なんでもやろう

私

が大学生だった頃は、趣味のジャグリングや手品といった芸事に明け暮れていました。学内でも大道芸のサークルに所属していたほか、他団体との練習会や公演会に参加したり東急ハンズで手品師をしたりと多くの経験を通じて、自分の演技スタイルを模索することにやりがいを見出していました。そこから誰も成し遂げていない何かを発想し挑戦する、大勢の他者に向けて何かを発表する、言葉で他人と良好に関わるといったことへの自信を得きました。こうしたものは現在にも様々な

形で私の中に残り続けており、たとえば新しい研究題材の考案や学会での発表、研究内容に関する国際交流といったあらゆる面で今の私を支えています。

大学在学期間というのは勉強以外にもいろいろなことに手を出せる特別な時期です。後輩の皆さんには勉強だけにとどまらず(留年とかはしない範囲ですけれども)様々なことを経験して、人を見、人と関わり、自分を知り、新しい個を作り上げ、「その後の人生で自分がどのような人間でありたいか」を考える有意義な期間にしてほしいと思います。



横浜国立大学工学研究院

松田 涼佑さん

Matsuda Ryosuke

理工学部2018年卒、理工学府博士課程2023年修了。現在、工学研究院の研究員として研究中。

うずきに素直になる

卒

業から丸13年。会社では中堅と呼ばれるようになりました。峰岡のアパートから見えた富士山、峰沢に広がるキャベツ畑…。船の汽笛とカモメに憧れていた私の幻想は受験したその日に見事に打ち砕かれました。

在学時代の特筆すべき思い出は一生の友との出会い。1年次の夏に留学生の日常生活をサポートする「チューター」募集の掲示を見つけました。今は無き「教育人間科学部国際共生社会課程」に所属し、国際交流に興味のあった私は好奇心の赴くまますぐに応募。担当したのはオーストラリア人留学生。彼とは不

思議なほど意気投合し、夜な夜な飲んだり食べたりカラオケに行ったり。ここではとても語りつくせません。在学時代に交わした互いの結婚式に互いを招待するという約束も果たすことができました。

未知なる世界への好奇心と、ちょっぴりの挑戦心と、たくさんの偶然と、周りの支えがあって実現した一生の友との出会い。皆さんも自分のうずきに素直になって、新しい世界への扉を叩いてみましょう。きっと扉の向こうには、自分の人生を豊かにしてくれるたくさんの出会いが待っています！



三菱UFJ信託銀行株式会社

竹花 章仁さん TAKEHANA Shoji

教育人間科学部2010年卒。現在、八十二銀行から三菱UFJ信託銀行へ出向中。社会人14年目。キャンパスから見える一番好きだった景色は教育第3研究棟の上階から見る保土ヶ谷の街並み

大学に課外活動団体として届けている団体は、47の体育系団体と54の文化系サークルです。
どの課外活動団体も積極的に活動をしています。

■ 準硬式野球部

<https://ynu-junko-baseball.jimdofree.com/>

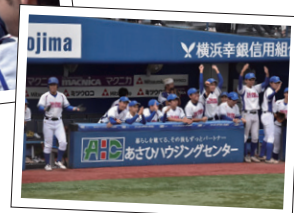


私たち準硬式野球部は、現在、1～3年生合計40人で春と秋に2度開催される神奈川県内のリーグ戦、春に開催される関東大会で結果を残すために活動しています。

準硬式野球部の魅力は、大学での学習、サークル活動、アルバイトなど学生個人の活動と部活動を両立させているところです。週2日と練習日数は多くありませんが、しっかりとメリハリをつけて練習に取り組むことで、昨年度は秋季リーグで準優勝を果たし、多数の部員がリーグ戦の個人賞を受賞しました。

また、大学で久しぶりに野球を再開した選手、大学で野球を始めた選手など也在籍しており、部員全員で楽しく、真剣に野球に取り組んでいます。

練習試合や公式戦の結果などはTwitter、Instagram等で発信していますのでぜひご覧ください。今年度もリーグ戦での優勝、関東大会など上位大会への出場を目指し練習に真剣に取り組んでいきますので、ぜひご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



■ ヨット部

<http://ynusc.sakura.ne.jp/>



ヨット部は今年で創部74年を迎える、歴史ある部活動です。この春新たに26名の部員を迎え、総勢52名と過去最多かつ、全国有数の部員数で活動しております。

本年度のヨット部は「掴み取れ」のスローガンの下、「全日本インカレ総合5位」、「全国国公立大学1位」を目標に活動しています。スローガンにはヨットに必要な風を、そして勝利を、さらに周囲の人々の心を掴み取る、という意味がこめられています。

昨年度は3年連続全日本出場を決め、全国8位の成績を収めました。また、5月に行われた春インカレでは、強豪ひしめく関東ブロックにおいて、総合4位という、同部50年ぶりの好成績を収めることが出来ました。次の舞台は秋インカレ、そしてその先の全日本インカレです。これまでの勢いを止めることなく、更なる勝利を掴み取り、ヨット部史上初の4年連続全日本インカレ出場を目指します。強いのはヨット部のみならず、国大に関わる全ての方の心を掴み取れるような活動と結果を残して行きたいと思いますので、ご声援よろしくお願いいたします。



部活動支援

スポーツ関連設備等整備

軟式テニスコート及びフットサル場の改修をはじめスポーツ関連設備等の整備



学生団体表彰

陸上競技部、
スポーツチャンバラ翔剣会、
準硬式野球部

令和4年度活動・決算報告

令和4年度事業報告および決算関係書類については、令和5年5月23日(火)に校友会監事4名による監査で、「適切である」との報告を受け、同年5月30日(火)に開催された理事会および評議員会において承認決議されました。
令和4年度の主な活動は下記のとおりです。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部の事業が中止となったため、実施事業のみ掲載。

1. 入学時間連事業

- (1) 校友会学事暦カレンダーの作製
学事暦カレンダーを6,000部作製し、新入生・在学生の保護者に送付。
- (2) 新入生会員用ノベルティを作製
新入生会員に入会記念品として贈呈する特性バインダー(校友会ロゴ入り)を作製し、新入生会員に会員証とともに配布。
- (3) 交流会(新入生歓迎会)の開催
学生幹事が中心となり、7月8日(金)に在学生も含めた交流会(新入生歓迎会)を3年ぶりに対面にて開催。

2. 広報活動事業

- (1) 校友会会報誌第8号の作製
校友会会報誌「ALL YNU」第8号を28,500部作製し、卒業生、在校生、各同窓会、教職員、校友会関係者に送付。
- (2) 入会促進パンフレットの作製
校友会及び同窓会への入会を促進するためのパンフレットを3,000部作製し、合格者へ送付。

3. 学生活動の支援事業

- (1) 学生による地域課題解決支援事業
学生が自ら地域課題を発見し、地域と連携しながら課題解決に向かう25のプロジェクトを支援。
- (2) 学部共催講演会
すべての学部と共催で下記のとおり講演会を開催。
教育学部・・・工藤 勇一氏(横浜創英中学・高等学校校長)
経済学部・・・小野塚 知二氏(東京大学名誉教授、東京大学特命教授)
経営学部・・・赤本 正憲氏(三菱電機(株)国際本部地域統括部担当部長)
理工学部・・・渡邊 正義氏(紫綬褒章受章(2022年)、横浜国立大学名誉教授)
都市科学部・・・佐々木 睦朗氏(法政大学名誉教授、構造家)
- (3) キャリア教育支援
①「グローバル化と日本人」
異文化理解とコミュニケーション力養成を狙いとした全学部対象の教養科目。秋学期に対面(一部リモート)により実施。
②「グローバルビジネス実践論」
海外駐在経験者を講師としたグローバルに活躍できる人材養成を狙いとした全学部受講対象専門科目。秋学期にリモートにより実施。
- (4) スポーツ支援プロジェクト
①令和3年度に顕著な成績を収めた課外活動団体3団体に対し、副賞(活動奨励費)100,000円を贈呈。(硬式野球部、アカベラサークル Stairways、アメリカンフットボール部)
②フットサル場人工芝の改修、軟式テニスコートの改修等スポーツ関連設備の整備。
- (5) YNU横浜経営者の会「連携講座」の開講
YNU横浜経営者の会による連携講座「経営者が語るこれからの企業戦略・イノベーションと若者へのメッセージ」。
2年次以上を対象に秋学期にリモートにより実施。

正味財産増減計算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
【収入の部】			
1. 会費収入			
・新入会員 会費収入	29,420,000	29,920,000	△ 500,000
2. 雑収入			
・寄附収入	0	0	0
・受取利息収入	454	423	31
・その他雑収入	48,311	193,865	△ 145,554
雑収入計	48,765	194,288	△ 145,523
収入合計 (A)	29,468,765	30,114,288	△ 645,523
【費用の部】			
1. 事業費			
・入学時間連事業	2,528,184	3,051,452	△ 523,268
・広報活動事業	2,686,283	2,377,079	309,204
・学生活動支援事業	5,282,448	4,713,552	568,896
・全会員対象事業	1,988,480	2,132,679	△ 144,199
・大学支援事業	5,565,300	8,187,270	△ 2,621,970
事業費計	18,050,695	20,462,032	△ 2,411,337
2. 管理費			
・事務局諸経費	1,032,948	941,398	91,550
・事務局人件費	4,809,688	4,881,161	△ 71,473
・会員管理費	1,027,107	622,204	404,903
・減価償却費	0	0	0
管理費計	6,869,743	6,444,763	424,980
3. 予備費			
・予備費計	0	63,000	△ 63,000
費用合計 (B)	24,920,438	26,969,795	△ 2,049,357
収支差額 (A) - (B)	4,548,327	3,144,493	1,403,834
期 首 残 高	40,841,199	37,696,706	
期 末 残 高	45,389,526	40,841,199	

(6) 就職活動支援

- ①7月26日(火)OB・OGによるマスコミ業界向け就活相談会を大学との合同イベントとして、リモートにより実施。
- ②12月16日(金)「横浜経営者の会」と大学との合同イベントとして、対面による模擬面接会を実施。

4. 全会員対象事業

- (1) 横国 Day 事業
11月6日(日)規模を縮小し実施。交流会を第1食堂で実施。
- (2) 若手OB・OGとの交流会ヨココク・ツナガル
学生幹事が中心となり11月25日に対面にて実施。
- (3) 美術館・博物館キャンパスメンバーズ
国立美術館(東京国立近代美術館、国立西洋美術館、国立新美術館)及び東京国立博物館を学生が無料で利用できるよう年会費を支援。

5. 大学支援事業

- (1) 横浜国立大学基金への寄附
通常の基金へ4,638,000円を寄附し大学を応援。
- (2) 大学への寄附を募るパンフレットの作製経費を支援

※令和5年度横浜国立大学校友会総会のお知らせ

「令和5年度横浜国立大学校友会総会」は、令和5年9月17日(日)に開催を予定しています。
当日は、会員はもちろんのこと、在学生の保護者の皆様もご参加いただけます。
詳細につきましては、校友会ホームページで追ってお知らせします。

横浜国立大学校友会事務局

横浜国立大学校友会 ホームページ・facebookのご案内



横浜国立大学校友会では、会員登録の有無にかかわらず、会員の皆さま方へ校友会の各種活動、ご案内をお知らせするためにホームページを開設しています。総会・理事会・評議員会の議事掲載をはじめイベント案内なども行っておりますので、下記アドレスをぜひご覧ください。（今後発行する本会報についてもPDFで掲載していく予定です）



▶ <http://koyukai.ynu.ac.jp>



横浜国立大学校友会のFacebookページが開設されました。校友会のイベント情報、校友会の活動記録、学生生活の様子などを投稿しています。横浜国立大学の学生から保護者の方々、卒業生や教職員の方々など、多くの方に御覧いただきたく、ページのいいね！をどうぞよろしくお願いします。



▶ <https://ja-jp.facebook.com/ynu.connect/>

横浜国立大学校友会 会員サイト 登録のお願い



横浜国立大学校友会では、会員の方々に会員システムへのご登録をお勧めしています。ご登録いただくことで、会員間での会員検索・連絡、校友会からの各種イベントの案内を受け取ることが可能となります。これから横浜国立大学校友会、ひいては横浜国立大学を盛り上げていくためにも、在学生、卒業生の皆さまのご登録をお待ちしています。

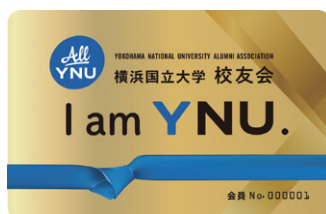
▶ <https://koyukai.ynu.jp>

会員サイトへのアクセスは、
校友会ホームページのグローバルメニュー
「会員サイト」→
右メニュー「サイトへのリンク」を
クリック



※既に会費をお支払いになられている会員（新1年生）につきましては、校友会事務局で登録を済ませております。会費お支払いの際、払込票に記載いただいたメールアドレスにID・パスワードが届いていない新入生会員の方については、お手数ですが、下記校友会事務局まで至急お問い合わせください。また、登録内容に変更が生じた場合、随時会員サイトにログインいただき、登録内容の修正を行ってください。

横浜国立大学校友会 会員証について



横浜国立大学校友会事務局では、現在会員証及び入会記念品を配布中です。会費をお支払い済みの会員（在学生）でまだ受け取られていない方は、下記地図の事務局まで学生証持参の上、お越しくださるようお願いします。

横浜国立大学校友会 会報 ALL YNU 第9号

2023年8月発行

- ・本誌の記事・写真等の無断転載を禁じます。
- ・横浜国立大学校友会や本会報についてのお問い合わせは下記までお願いします。

編集・発行 横浜国立大学校友会
連絡先 横浜国立大学校友会事務局
TEL：045-339-3177
e-mail：koyukai@ynu.ac.jp

▶ <http://koyukai.ynu.ac.jp>

表紙写真：常盤台キャンパス 理工学系研究図書館付近（夏と冬）

